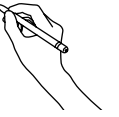


せと 市議会だより

令和6年3月定例会

108号

令和6年5月号



特集 P.2-3 新年度予算 税金の使い方が決まりました



菱野団地の3小学校を統合するための改修計画が公表され、令和6年度から現八幡小学校校舎の長寿命化改良工事が始まります。新小学校と光陵中学校を、施設分離型小中一貫校として、小中一貫教育に取り組んでいきます。

一般会計予算	457億6,000万円	(増減率+10.73%)
特別会計予算	251億6,800万円	(増減率+0.21%)
企業会計(水道・下水道)予算	93億9,482万円	(増減率+9.71%)

学校跡地の活用及び公有地処分について

事業内容 深川小学校・東明小学校の跡地活用の方針及び祖母懐小学校跡地の売却は再度行う。

議会の視点 深川小と東明小の跡地活用の具体的方針と、入札が不調だった祖母懐小の売却の見通しはどのようか。

Q 公共施設整備について、学校跡地及び瀬戸サイトを含め、どのような活動を行っていくのか伺う。

A 令和6年度においては、活用方針がまだ定まっていない深川小学校と東明小学校について活用方針の策定に取り組んでいきたい。また、祖母懐小学校については住宅用地として売却をしていきたいと考えている。

総務生活分科会

資源ごみ分別処理

事業内容 新たにプラスチック製容器包装回収の臨時拠点を設置するもの。

議会の視点 市民から、プラスチック製容器包装の分別回収を隔週1回を週1回にしてほしい要望が多くあるが、なぜ臨時拠点回収を設置することになったのか。

Q 資源ごみ分別処理について、今回プラスチック製容器包装等の臨時回収拠点を設置する理由を伺う。

A 現状は、人手や経費について非常に効率的な収集体制となっている。仮に週1回の回収にすると、更なる経費の増加が見込まれるうえ、ごみ収集日程等の体制の再編が必要となる。そこで、年末などの資源リサイクルセンターの混雑緩和のため、臨時回収の拠点を設け、状況を注視することとした。

総務生活分科会



消防新庁舎について

事業内容 消防庁舎の建て替え時期を変更し、現在の本署を大規模改修することで延命化を図るもの。

議会の視点 本来早期の移転、新築が望ましく、大規模改修で市民の安全安心な暮らしは守られるのか。

Q 庁舎建て替え時期が変更となり、大規模改修としたが、消防本部としての機能を停止または縮小せず、100%の機能を保ちながら改修するために、どのように取り組んでいくのか伺う。

A 大規模改修は、令和6年度に改修箇所を精査し計画を立てていく。取り組みとしては、改修場所と機能を抽出し、方法・工期など、それらに関する条件を協議して改修計画を立てる。署として災害対応をする機能は100%維持しながら改修しなければならないと考えている。

総務生活分科会

将棋モニュメント建設工事について

事業内容 将棋文化の普及啓発を目的に、令和7年度にモニュメント作成と設置を行う。

議会の視点 2025年には「国際芸術祭あいち」、「万博開催20周年記念事業」等があり、瀬戸への観光客に見てもらいたい絶好の機会に合わせて、市民参加の企画・設置場所を検討してはどうか。

Q 1,100万円使用し、将棋モニュメントを文化センターに建設予定とのことだが、モニュメントは多くの人に見てもらいたい文化センター以外の設置について検討したか伺う。

A 候補地として市役所や中心市街地も上げたが、最終的には将棋文化の振興ということなので文化センターに決まった。

都市活力分科会



図書館本館のリニューアルについて

事業内容 図書館利活用計画に従い、「大人がゆっくり楽しめる、子どもと一緒に楽しめる」図書館を目指し、本館をリニューアルする。

議会の視点 リニューアル工事は、今後新しい図書館は作らないという意思表示なのか。

Q 長寿命化・改修工事により30年間建物を延命できることになるが、現在の場所で、今後30年間利用するということなのか。

A 現段階では、図書館の移転や新築といった計画はないので、今後そのような計画が出てくるまでは、現在の建物を使用することになる。



厚生文教分科会

菱野団地小中一貫校整備いよいよ着手へ

事業内容 令和8年4月新小学校(現八幡小学校)開校へ向け、校舎の長寿命化工事を令和6年度から開始する。

議会の視点 工事の詳細が明らかになってきたなかで、具体的な改修内容はどのようか。

Q 開校時をピークに生徒数は減るとされているが、転入が増える場合もある。菱野団地再生計画もあり、予定されているクラス数が増える場合、余裕教室はあるのか伺う。

A 今後、急激に児童数が増加する場合には、特別支援学校の中学部と高等部の萩山小学校への移転後は、光陵中学校の校舎の活用も含めて検討していきたいと考えている。



厚生文教分科会

令和6年度瀬戸市水道事業について

事業内容 市民に安全・安心な水道水を供給する。



議会の視点 県水の段階的な値上げが決まり、瀬戸市として水道料金をどのようにしていく予定か。

Q 令和6年度の予算については、実質約2億5,000万円の赤字に転じ、この実質赤字の予算が3年続いているが、どのようにとらえているか伺う。

A 赤字が継続することで施設更新が進まず、安全で安心な水の供給ができなくなるため、令和6年2月8日の瀬戸市水道事業経営審議会に対し、水道料金の諮問を行った。令和6年度から水道料金の水準、体系、改定時期などの検討を開始していく。

都市活力分科会

保育士不足解消に向けた手立ては？(民間保育所運営費補助金)

事業内容 民間保育所に対し、勤務する職員の処遇向上・延長保育等、保護者のニーズに対応する保育サービスを提供できる体制整備等のために補助金を交付する。

議会の視点 保育士不足解消に向けた施策は十分か。

Q 本市ではいまだ待機児童が出ているが、保育士賃金の補助等の予算計上がされていない。その理由を伺う。

A 保育士確保につながる新たな施策は、ICT推進事業の拡充のみである。今後、賃金の上乗せなども視野に入れ、関係部署も含め検討していく。

厚生文教分科会

予算大綱説明



瀬戸市長 川本 雅之

本市の最上位計画である「第6次瀬戸市総合計画」は、将来像の実現に向けて着実に歩みを進めており、市民の皆さまと共に描いた将来像を実現すること、そのために、「住む・働く・学ぶ・育む」といった暮らしの要素を充実させていくことが、市長としての使命であると考えております。

「住む」の充実には、支援を必要とする方々のニーズを踏まえた福祉施策の推進や子育て世代の定住促進、「働く」の充実には、地域産業の振興に向けた支援の充

実や新たな雇用の創出、「学ぶ」の充実には、子どもたちの教育環境の整備や、小中一貫教育及びきめ細やかな教育の推進、「育む」の充実には、妊娠・出産・育児に係る様々なニーズに対する適切な支援や子育てサービスの充実等に取り組んでいくことが重要であると考えております。

令和6年度の当初予算は、「第6次瀬戸市総合計画」に掲げる将来像を実現するため、これら暮らしの要素の充実を意識した編成といたしました。

代表質問

3月定例会では、3人の議員が会派を代表して代表質問を行い、新年度の予算や市政運営についてそれぞれ質問をしました。質問を行った順に各会派2問ずつ主な質問と答弁を紹介します。



富田 宗一
新政治クラブ
自民



財源の恒久的な確保について

Q 本市は財源不足を補うために、持続可能な取り組みを行っていきつつあるが、今後の安定した収入源をどこに、どのような方法で求めているのか。

A 恒久的な財源の確保として最も重要なことは、市税収入を将来にわたり安定して確保する基盤を作ることである。暮らしの4要素を充実し第6次総合計画に掲げた将来像を実現するための取組を進めることで、特に子育て世代を中心とした定住人口の増加や、企業誘致等による雇用の創出、地域経済の活性化などにより、市税収入の増額及び安定確保に繋げたい。

18歳までの医療費無償化について

Q 10月開始予定としているが、実施すると決めたのであれば少しでも早く経済的支援を始めたいと考えています。また、7年度からは恒久的に1億2,000万円前後が必要になると思われるが財源はどのように確保するのか伺う。

A 18歳までの医療費無償化については、システム改修、受給者証の申請受付や送付などの準備が必要なことから、10月施行予定となった。財源については、国が進める少子化対策に伴う財源措置や中期事業計画策定において、他の施策との優先度、事業の安定した運営、中長期的な費用対効果等の観点から必要な事業と位置付け、予算化したものである。

第6次瀬戸市総合計画の将来像の実現について



長江 秀幸
瀬戸市議員団
公明党



Q 第6次瀬戸市総合計画策定から7年が経過し8年目を迎える川本市長は「市長としての任期と第6次瀬戸市総合計画の残りの計画期間が重なっております」と述べているが、8年目をどのような時期と捉え、将来像実現に向けて取り組むのか伺う。

A 8年目となる令和6年度からは、これまでの取組を検証・総括するとともに、次期総合計画の策定に向けた検討を進めていきたい。そして、検証結果も踏まえながら、将来像の実現に向けて、「住む・働く・学ぶ・育む」といった暮らしの要素をしっかりと整え、充実させていきたい。

資源物の臨時拠点回収について

Q 新たに資源物の臨時拠点回収に取り組むが、具体的な取組内容について伺うとともに、その効果をどのように期待し、また、見込んでいくのか伺う。

A プラスチック製容器包装などの資源物について、臨時の回収場所を設け、市民の皆さまにお出しいただけるようにするものである。臨時回収の場所や日程等については、現在調整をしているところである。資源リサイクルセンターが混み合う年末年始などに、複数の拠点で臨時回収を行うことにより、市民の皆さまが資源物をより一層出しやすくなることなどを見込んでいる。

能登半島地震の教訓に学び、災害から市民の命を守る対策を



浅井 寿美
瀬戸市議員団
日本共産党



Q 今回の能登半島地震においては、耐震性の低い住宅の倒壊により、多くの方々が犠牲となった。本市には耐震基準を満たしていない木造住宅は約6,800戸、その中で耐震診断を行ったのは令和4年までに1,817戸となっており、約5,000戸は危険度の判定すら行っていない状況である。所有者の7割が70代以上であり、5割が補助制度の拡充を求めているが、市民の命を守る対策を緊急に実施すべきではないか。

A 耐震化の必要性について戸別訪問等を通じ周知する。補助制度の拡充は、国・県・近隣市町村の動向を注視していく。

子どもが安心して学ぶことができるよう、学校給食費の無償化を

Q 県内の学校給食費の無償化等については、2024年度の予算で完全無償化する自治体は2023年度の3自治体から7自治体へ増え、これを含めて何らかの補助を行うのは27自治体となり、50%となった。教育は無償の観点からも、保護者の経済的負担を軽減し、瀬戸市のすべての子どもが安心して学ぶことができるよう、学校給食費無償化に足を踏み出すべきと考えるが見解を伺う。

A 学校給食費の保護者負担軽減については、国の動向等を踏まえ、子ども・子育て支援策全体を考える中で、総合的な見地から判断すべきと考える。

3月定例会の主な議案概要と審査内容

総務生活委員会

第2号議案 市有財産(建物)の無償貸付について

概要 旧古瀬戸小学校を民間事業者へ貸し付けて、小学校建物を有効活用してもらい、民間事業者がスポーツ施設の整備や運営、維持管理を行いながら、イベントの企画や各種啓発活動を実施することにより、地域の活性化を図り、活気あるまちづくりに貢献することを目的とするもの。

Q 貸付予定の旧古瀬戸小学校体育館は土砂災害ハザードマップの黄色メッシュ「土砂災害警戒区域」がかかっており、体育館は、赤色表示の「土砂災害により被害のおそれのある人家」となっている。このような場所の公共施設を貸付けることについて見解を伺う。

A 土砂災害警戒区域は土砂災害防止法に基づき、土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずる恐れがあると認められる区域で警戒避難体制を特に整備すべき区域となるが、すでに存在している建物の利用に関してはそのまま使うことが認められており、その旨をプロポーザル時に示した上で事業者を選定している。

厚生文教委員会

第7号議案 瀬戸市子ども医療費助成条例の一部改正について

概要 子ども医療費助成について、入院は18歳まで、通院は15歳までであったものを、令和6年10月より、入院・通院ともに18歳まで助成するもの。

Q 無償化をすることによって、受診控えが解消されると同時に、一方でコンビニ受診などの過剰受診を招くとも言われているが、どのような対応をされるのか。

A 今回の拡大対象は15歳以上であり、医療受診数が比較的少ない世代であるので、すぐにコンビニ受診につながるとは考えていない。今後の動向を注視し、適正な受診や医療費の適正化を呼びかける取り組みを検討する。

元市長の増岡錦也氏を瀬戸市名誉市民に推挙する議案を可決

このたび、元瀬戸市長の増岡錦也氏を瀬戸市名誉市民に推挙する議案が市長から提出されました。増岡氏は、平成11年に瀬戸市長に就任され、2005年の日本国際博覧会「愛・地球博」の成功に寄与されたほか、中心市街地施設や道の駅整備など幅広い産業・観光の振興、姉妹都市提携による国際交流の推進、さらには、瀬戸特別支援学校の設立をはじめとする福祉の向上にも取り組まれるなど、4期16年間の長きにわたり、市政の発展に寄与された功績は顕著であるとして、多くの賛成議員をもって議案は可決されました。

3月定例会議案等審議結果

市長提出議案

議案番号	件名	採決結果
第1号議案	瀬戸市名誉市民の推挙について	可決(賛成多数)
第2号議案	市有財産(建物)の無償貸付について	可決(賛成多数)
第3号議案	瀬戸市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第4号議案	瀬戸市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第5号議案	瀬戸市手数料徴収条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第6号議案	瀬戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第7号議案	瀬戸市子ども医療費助成条例の一部改正について	可決(全会一致)
第8号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第9号議案	瀬戸市水道事業の設置等に関する条例及び瀬戸市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第10号議案	瀬戸市水道事業給水条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第11号議案	令和5年度瀬戸市一般会計補正予算(第11号)	可決(全会一致)
第12号議案	令和5年度瀬戸市一般会計補正予算(第12号)	可決(全会一致)
第13号議案	令和5年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決(全会一致)
第14号議案	令和5年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第15号議案	令和5年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第16号議案	令和5年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第17号議案	令和5年度瀬戸市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第18号議案	令和6年度瀬戸市一般会計予算	可決(賛成多数)
第19号議案	令和6年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計予算	可決(賛成多数)
第20号議案	令和6年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計予算	可決(全会一致)
第21号議案	令和6年度瀬戸市介護保険事業特別会計予算	可決(賛成多数)
第22号議案	令和6年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計予算	可決(賛成多数)
第23号議案	令和6年度瀬戸市水道事業会計予算	可決(全会一致)
第24号議案	令和6年度瀬戸市下水道事業会計予算	可決(全会一致)
第25号議案	瀬戸市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決(全会一致)
第26号議案	瀬戸市介護保険条例の一部改正について	可決(全会一致)
第27号議案	瀬戸市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第28号議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第29号議案	瀬戸市市税条例の一部改正について	可決(全会一致)
第30号議案	瀬戸市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第31号議案	瀬戸市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第32号議案	瀬戸市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第33号議案	瀬戸市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第34号議案	瀬戸市国民健康保険条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第35号議案	令和6年度瀬戸市一般会計補正予算(第1号)	可決(賛成多数)
第36号議案	令和5年度瀬戸市一般会計補正予算(第13号)	可決(全会一致)
同意第1号	瀬戸市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全会一致)
第18号議案組替動議	令和6年度瀬戸市一般会計予算に対する組替動議	否決(挙手少数)

議員提出議案

議案番号	件名	採決結果
第1号議案	学校給食費無償化を求める意見書	可決(全会一致)

左記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載

各議員の議案に対する賛否の状況

議案番号	議員名	自民新政クラブ										公明党 瀬戸市議団		日本共産党 瀬戸市議団		無党派 無会派		無党派 無会派		無党派 無会派		無党派 無会派		無党派 無会派			
		黒柳知世	颯田季央	山内精一郎	朝井賢次	高島淳	西本潤	小澤勝	宮園伸仁	富田宗一	柴田利勝	三木雪実	三宅聡	池田信子	長江秀幸	原誠	新井亜由美	浅井寿美	松原大介	馬嶋みゆき	石神栄治	中川昌也	高桑茂樹	戸田由久	臼井淳	長江公夫	伊藤賢二
第1号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号議案組替動議		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×
第18号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第27号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第28号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第32号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第33号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第34号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第35号議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【○】は賛成(採択)【×】は反対(不採択) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。柴田利勝議員は議長職のため、採決には加わりません。



「学校給食費無償化を求める意見書」を全会一致で採択しました。

昨今の世界的な資源や原材料費の高騰は、諸物価の上昇を招き市民生活を圧迫している。特に子育て世帯の家計への影響は大きく、早急な対策が求められている。

本市では、物価高騰に伴う賄材料費の値上がり分については保護者に請求することなく、地方創生臨時交付金を充当しながら補っているがこれも限界がある。保護者の経済的負担軽減等の観点から、学校給食費無償化に対する期待は高いものの大きな財源が必要で、余力のない自治体がほとんどであるために、無償化を実現するためには国の関与が必須である。

よって瀬戸市議会は、政府及び国会に対し、学校給食無償化推進のために自治体への支援を行うよう強く要望する。



第18号議案 令和6年度一般会計予算に対する組替動議

中水野駅周辺土地区画整理事業補助金の予算が計上されましたが、令和6年3月末時点では、組合設立に至っていません。市補助金2億6,500万円の予算執行にあたっては、愛知県が求める本同意85%以上の要件を満たしたうえで、組合設立認可を得てから行うべきであると長江公夫議員はじめ7名の議員から提案されました。

組替する事項は、8款4項2目中水野駅周辺土地区画整理補助金2億6,500万円を8款4項1目都市環境整備基金に繰入れること。

賛成討論と反対討論を行い、採決では、賛成9名・反対16名の賛成少数で組替動議は否決となりました。

一般質問

市の行政課題などについて13人の議員が考え方や内容を質問しました。質問を行った順に、一人ずつ紹介します。

Q 市議の質問
A 市の回答

会議の様子は会議録や録画映像でご覧になれます。



無党派
中川 昌也



公契約の適正な運用と公契約条例の見直しについて

Q 入札契約事務は瀬戸市契約規則と実施要綱により行われているが、グレーゾーン解消に向け、マニュアルが必須と考えるが見解を伺う。また、公契約条例の改定も必要であり、第三者機関を設置し、条例の検証をすべきと考えるが見解を伺う。

A 契約規則の逐条解説と随意契約ガイドラインを2月末に作成した。今後も必要に応じ内容を充実させていく予定。また、公契約条例の見直しは、今のところ考えてないが、見直しの必要があれば検証、第三者機関の設置を検討していく。(行政課)



自民
新政クラブ
宮園 伸仁



国際交流事業を成功させることにより、瀬戸市の繁栄を願うために

Q 直近では「ジブリパーク」のフルオープン、2025年は「愛知万博20周年記念事業」「国際芸術祭あいち2025」「名鉄瀬戸線開通120周年」など大きなイベントがあり、瀬戸市にとって大きな好機となる。これを機にこれまで瀬戸市を訪れたことがない人が、瀬戸市を訪れることが想定される。瀬戸市として、どのような受け入れ体制を整え、また、地域をどう盛り上げていくのか見解を伺う。

A 「愛知万博」で培ったおもてなしの精神を活かし、官民一体となってさらなる賑わいづくりに繋がる取り組みを検討していく。(政策推進課)



自民
新政クラブ
颯田 季央



「包括的な防災」が可能な瀬戸市を目指して

Q 平時より災害弱者の対応を検討しておくことは安心して暮らせるまちづくりにつながる。本市の災害時に支援が必要な避難行動要支援者は約1万2千名で、災害弱者でも重度な障がいや介護が必要な人の実効性のある個別避難計画は早期に作成が必要である。医療・介護・福祉関係者と連携してICTを活用した計画作成・更新の頻度の増回の予定を伺う。

A 現時点では、年に1回の更新と方法を変える予定はない。ただし、医療・介護・福祉関係者との連携は必須であり、個人情報の取扱い、システムカスタマイズ、予算の確保など課題の整理が必要である。(高齢者福祉課)



日本共産党
瀬戸市議員
原 誠



コミュニティバスなど地域公共交通の充実で交通弱者にとって住みやすい瀬戸市へ

Q 本地線について、定時運行ができていない便があるので、ダイヤの見直しをすべきではないか。また、週5日運行や陶生病院への全便乗り入れも検討すべきではないか。

A (仮称)本地おでかけバスの実証実験に伴い、現状遅延の多い朝便のダイヤは改正を行う予定である。週5日運行や全便陶生病院乗り入れは現時点では考えていないが、本地おでかけバス相談会でも住民から同様の意見を頂いている。今後実証実験と並行して地域の運行協議会と協力し地域特性に応じた運行方法をめざしていくので、ぜひ皆様に利用していただきたい。(都市計画課)



自民
新政クラブ
黒柳 知世



にじの丘学園の増築により子ども達の学ぶ環境はどうか

Q 児童生徒数増加の対応として、敷地内に軽量鉄骨造での普通教室増設を予定している。市内他小学校では児童数増加の対応策として、増築部分には音楽室などの特別教室、また職員室を移設しており、一日の中で多くの時間を過ごす普通教室は既存校舎に増設している。にじの丘学園の特徴は異学年交流であることから、理念に沿うように増築計画をすすめるべきだと考えるが見解を伺う。

A 現時点においては、増築部分には普通教室を設ける事が適していると考えているが、今後子ども達の教育環境の整備を一義に考え、費用面など総合的な観点から整備方針を決めていく。(教育政策課)



日本共産党
瀬戸市議員
新井 亜由美



子どもの育ちと親の働きを応援できる保育園に

Q 瀬戸市は少子化が進む一方で乳児保育の需要が高まっているが、待機児童が解消されず職場復帰できない保護者が少なくない。現在計画の中の水北保育園と水南保育園の統廃合の前提となっている中水野駅周辺土地区画整理事業はいつ開始するか。子どもや親の負担が増え、待機児童を増やさない水北と水南保育園の統廃合は、すべきでないか考えるが見解を伺う。

A 土地区画整理事業の開始時期は決まっていないが、水南保育園を土砂災害の危険から回避する必要性から、現時点での案として計画した。今後、国の施策や市の状況と整合を図りながら検討していく。(保育課)



無党派
高桑 茂樹



令和6年能登半島地震を踏まえて

Q 令和6年1月1日午後4時10分頃、石川県能登地方でマグニチュード7.6、最大震度7の能登半島地震が発生し、支援活動へ各部署から職員派遣等をおこない、活動報告を受けているが、どのような危機意識を持たれたのか。

A 自然災害は予測困難で、平時においても最悪の事態を想定した防災・減災への備えが必要であると認識していたところだが、道路や水道などライフラインが甚大な被害を受ける非常に厳しい状況に加え、職員の被災等により限られた人員体制での緊急事態への対応及び処理態勢の構築が改めて重要であると認識した。(危機管理課)



無党派
馬嶋 みゆき



森林環境譲与税の使途と公表について

Q 国は令和6年度から一人年額1,000円の森林環境税を徴収し、譲与税として各自治体へ配分する。森林整備及びその促進に関する費用に活用でき、既に先行配分がされているが、これまで本市では木製品の利用が多いがなぜか。また、わかりやすい使途の公表方法について伺う。

A 現在のところ、森林を活かす新たな仕組みである「森林経営管理制度」を活用する状況になく、学校等の市の施設で木材利用を伴う事業の優先度が高くなっているため、木製品の利用が多い。また公表は林野庁や市の税務課のHPとリンクするなど制度や目的を明確にし、使途をわかりやすく説明する専用ページを作成する。(産業政策課)

ペットの防災の情報発信について



公明党
瀬戸市議員
池田 信子



Q ペットの防災の情報発信は平常時にできる防災の備えであると考えます。市ホームページ・公式LINE等に掲載してはどうか。併せて、災害時にペット同行避難等に備えることができ、災害時の対応等をまとめた記録簿として、普段から持ち歩く等の活用ができる「瀬戸市ペット防災手帳」の作成・配布を提案したい。

A 災害に備えたペット対策は、飼い主による日頃からの適正な飼育が大切であり、市ホームページ等で周知啓発するとともに、防災意識を高めていただくために、ダウンロードして活用できる「ペット防災手帳」を作成していく。(危機管理課)

若年性認知症の方への就業支援について



公明党
瀬戸市議員
三宅 聡



Q 本年1月より「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行となりこれまでの予防ということに加え、共に生きる「共生」にも重きが置かれることとなった。今後、増加傾向が予想される若年性認知症の方への就業支援の必要性について市の見解を伺う。

A 若年性認知症の方の中には、体力的には問題の無い方も多く、就業可能と判断される場合には、ご本人の希望に応じて基幹型地域包括支援センターや地域包括支援センターを通じてハローワークと連携するなど就業支援に繋がっている。(高齢者福祉課)

第6次総合計画の進捗と瀬戸市の経済を豊かにする方策について



自民
新政クラブ
山内 精一郎



Q 目指すべき都市像「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」の実現の方策について、にじの丘学園の人口増加により、経済効果をもたらしたように、菱野団地における新しい小中一貫校の開校によって、経済活性化の横展開を期待するが、見解を伺う。

A 菱野団地における学校再編は、魅力ある学校づくりが社会増に繋がった、にじの丘学園の実績を踏まえて、子育て世代の転入による地域の活性化、新たな賑わいの創出、さらには、市全体の魅力向上にも繋がるものと考えている。(教育政策課)

中水野駅周辺土地区画整理事業の市負担の見通しを明らかにするべきである



無党派
白井 淳



Q 令和6年3月末に、本事業の組合設立認可を得るため、地権者から本同意を求めているが、現在本同意の取得の状況はどのようなか。また、土地区画整合法第18条では、地権者の3分の2以上の同意を必要としているが、同事業の地権者150人の本同意取得については、県が指導する本同意85%を取得していくことで良いのか伺う。

A 本同意取得の状況は、3分の2程度の同意をいただいている。また、組合設立認可は愛知県であるので、現在は県の指導に従い、発起人会が中心となって、同意率85%を目指して本同意の取得に取り組んでいるところである。(都市計画課)

中期事業計画の査定から本市の方向性を問う



無党派
松原 大介



Q 「かたよらない市政の実現」「暮らしの4要素の充実」という市長の方針と、中期事業計画の査定では、方向性が乖離している。全市民の生命と財産を守る消防新庁舎建設を前提に、中水野駅周辺土地区画整理事業のスケジュールを調整すべきではないか。

A 消防新庁舎については、内容を今後も精査しながら、よい消防庁舎を作っていく思いがある。また、若い世代の人たちが瀬戸に移り住んでいただくような事業も必要であり、総合的に判断した予算配置としている。(政策推進課)

行政視察報告

総務生活委員会 1月22日～23日

<視察先・項目>
大阪府箕面市「経済的手法によるごみの減量について」
兵庫県伊丹市「スマート窓口について」

箕面市におけるごみ減量施策は、年間3,6000分のゴミ袋を無料配布することで家庭系可燃ごみ減量に対する市民意識が高まり、効果が長期に渡り継続しています。

伊丹市では、老朽化した市庁舎建て替えを機に「スマート窓口」を導入した。これにより職員が働きやすい環境が整備され、その分「オンライン申請」など、市民サービスの向上も図られることとなり、好評を得ていました。



厚生文教委員会 1月25日～26日

<視察先・項目>
大阪府大東市「不登校支援モデル学びへのアクセス100%」
「家庭教育支援事業」
奈良県生駒市「かさねるいこま～生駒市重層的支援体制整備事業～」

大東市では、各種ある不登校支援を、ひとつのパッケージとしてまとめることで、市の考え方を寄り添う姿勢を示し、支援策の間口を広く見せることで、効果的に対象者まで情報が届くようにしていました。

生駒市では、地域包括ケアシステムの先進的取組みを従前から行っており、重層的支援体制へのベースとなっていました。



5月のせとまちトークについて

各種団体等との意見交換会を開催します！

瀬戸市議会では3つの常任委員会が調査・研究をしています。各委員会のテーマについてさらに内容を深めるための新たな試みとして、委員会が選定しました市内の各種団体等の皆さまとの意見交換会を5月頃に開催する予定です。瀬戸市の課題を解決するため、各種団体の皆さまと一緒に考え、市政等に反映していきたいと考えています。意見交換会で話し合われた内容や様子については市議会ホームページ等でお伝えしていきます。



5月臨時会開催予定

- 5月10日(金) 本会議
- 13日(月) 本会議
- 15日(水) 総務生活委員会・厚生文教委員会
- 16日(木) 都市活力委員会

6月定例会開催予定

- 6月10日(月) 本会議 (開会・議案上程・説明)
- 13日(木) 本会議 (一般質問)
- 14日(金) 本会議 (一般質問)
- 17日(月) 本会議 (一般質問・議案質疑・委員会付託)、予算決算委員会
- 19日(水) 総務生活委員会、
予算決算委員会総務生活分科会
- 20日(木) 厚生文教委員会、
予算決算委員会厚生文教分科会
- 21日(金) 都市活力委員会、
予算決算委員会都市活力分科会
- 25日(火) 予算決算委員会、議会運営委員会
- 27日(木) 議会運営委員会
- 28日(金) 本会議
(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時(5月15日の厚生文教委員会は午後1時)からの開催予定ですが、日程が変更される場合があります。

※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。

※請願・陳情の提出締切は、5月27日(月)の午後5時です。

編集後記

- 今回は、新年度予算審査の特集です。総務生活、厚生文教、都市活力委員会がそれぞれ3回の準備会を行い、予算審査では活発な質疑、討議が行われました。
- また、議員より中水野駅周辺の土地区画整理予算についての組替動議、給食費無償化実施を国に求める意見書案が提出され、議会の多様な役割を示す定例会になりました。

ご意見・ご感想はこちらから



問合せ先／議会事務局 議事課 ☎88・2740
E-mail▶giji@city.seto.lg.jp

編集・発行／瀬戸市議会 〒489-8701 瀬戸市追分町64-1

テレビ番組



グリーンシティケーブルテレビ

「こんにちは!瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

3月定例会の番組内容は「議会研修会について」や「3月定例会の結果報告」などについてお送りしました。

次回放送予定 7月22日(月)～28日(日)

放送時間 7:10～、9:10～、12:10～、14:10～
18:10～、22:10～

番組がご覧になれます。



ラジオ番組



RADIO SANQ「せとまちラジオ」(FM84.5MHz)

放送の前半は定例会のお知らせ、後半では瀬戸市の未来像について議員が語るコーナーもあります。どんな思いが語られるのかどうぞ楽しみに。

次回放送予定 6月11日(火)、7月9日(火)

放送時間 9:20～、12:30～、18:00～

RADIO SANQホームページから過去の放送分もお聴きいただけます。



傍聴



傍聴をご希望の方は、北庁舎5階の議会事務局にお越しください。

インターネット中継



会議の様子をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・タブレットでも!

瀬戸市議会ホームページ
SNS、YouTubeをチェック!



アプリでも議会だよりをチェック!



Catalog Pocket マチイロ